

令和7年9月1日
生活文化政策部
人権・男女共同参画課

生理用品の区施設への設置について

1 実施目的

「生理」は、個人差があるものの、多くの女性にとって日常生活に影響を及ぼす健康課題の一つである。また、「生理」に関する困難や不便は、女性全体に関わる課題であるにも関わらず、そのことを考慮されず、これまで個人の問題として扱われてきた。多くの女性は、「生理」により出血や生理痛などの身体的不調だけでなく、月経前症候群(PMS)や生理期間中の不快感などの精神的な負担も生じ、これらを繰り返しながら生活している。加えて、生理用品や鎮痛剤等の購入による経済的負担なども伴い、女性であるが故に様々な負担を強いられていると言っても過言ではない。

また、経済的理由や突発的な事象の発生により、生理用品を手に入れられない状況は、尊厳ある社会生活や健康、学びや就労などの社会参加を送る上で、その妨げにもなりかねない。

こうした課題は、社会の中で見過ごされてきたジェンダーギャップの一例であり、女性個人の問題から社会全体の課題として発想を転換していく必要がある。

区は、これらを踏まえ、「生理」によるジェンダーギャップを少しでも解消し、生理に対する無理解や偏見を無くすとともに、共に支えあう社会の実現のため、生理用品を区施設に設置する。

また、生理用品とともに女性相談窓口を案内するカードを設置し、相談につながりやすい環境も整備していく。

2 実施内容

(1)実施施設

200箇所程度を想定(既に独自で実施している施設も含む)

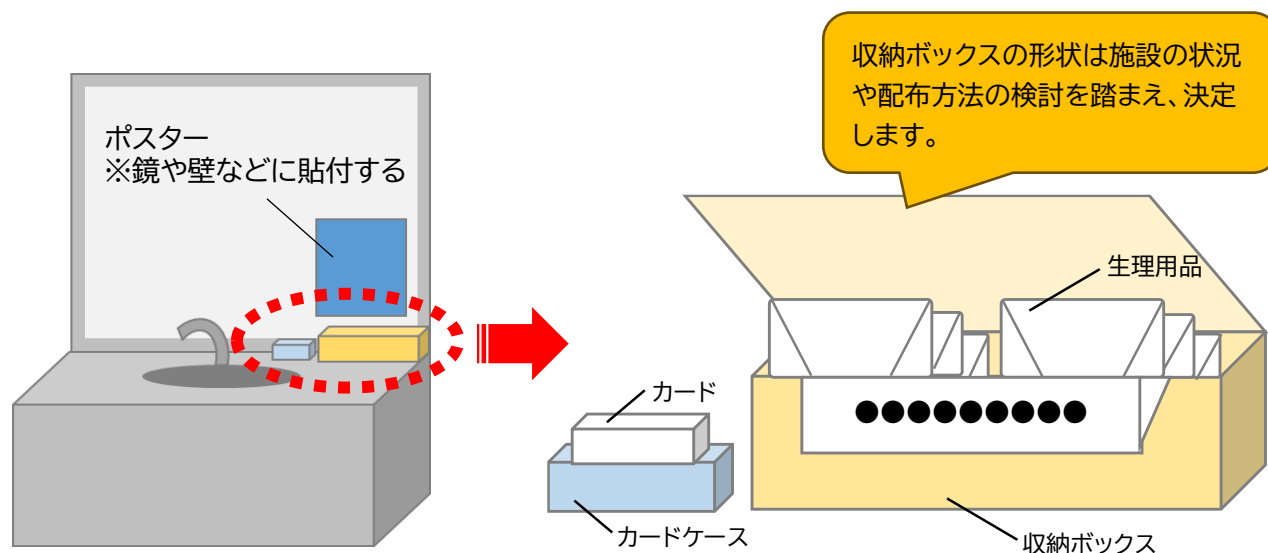
※今後、調整予定

(2)設置案

生理用品をボックス(かごのようなもの)に収納し、洗面台等へ設置する。

併せて、「世田谷区女性相談窓口」カード及びカードケースを設置するとともに、洗面所付近に生理用品配布に関するポスターを掲示する。

ただし、施設の実情を踏まえ、設置場所や配布方法は柔軟に対応する。



3 生理用品の確保

(1)防災備蓄物品の入れ替え品がある年度

防災備蓄物品として保管されていた生理用品を活用する。

(2)防災備蓄物品の入れ替え品がない年度

各施設所管課にて予算要求し、各施設にて購入する。

4 想定経費

(1)初期費用(令和7年度購入、令和8年度実施分)

約900,000 円

(収納ボックス、カード印刷、ポスター印刷、セット作業・搬送委託)

※生理用品は防災備蓄物品を活用するため、費用は生じない見込み。

(2)継続費用(令和9年度以降実施分)

①防災備蓄物品の入れ替えがある年度

約 60,000 円

(カード追加印刷、ポスター追加印刷)

②防災備蓄物品の入れ替えがない年度

約 4,600,000 円

(生理用品、カード追加印刷、ポスター追加印刷)

5 今後のスケジュール(調整中)

令和7年 9月～ 所管課調整

他自治体調査(必要数量算出)

10月 所管課調査(トイレ設置箇所数、施設状況確認)

12月 生理用品、配布用物品等数量確定

令和8年 1月 配布用物品等発注

3月 生理用品、配布用物品等搬送

区のおしらせ、区 HP 掲載、各種広報媒体で周知

4月 生理用品設置開始

6 その他

生理用品の区施設への設置については、現在検討中の「(仮称)世田谷区第三次男女共同参画プラン」(令和9年4月～)に施策として位置付けていく。